

# INTERMOLD 2025<sup>®</sup> 金型展2025

■主催／一般社団法人日本金型工業会

# 金属プレス加工技術展 2025

■主催／一般社団法人日本金属プレス工業協会

※2025年の名古屋開催は予定ありません。

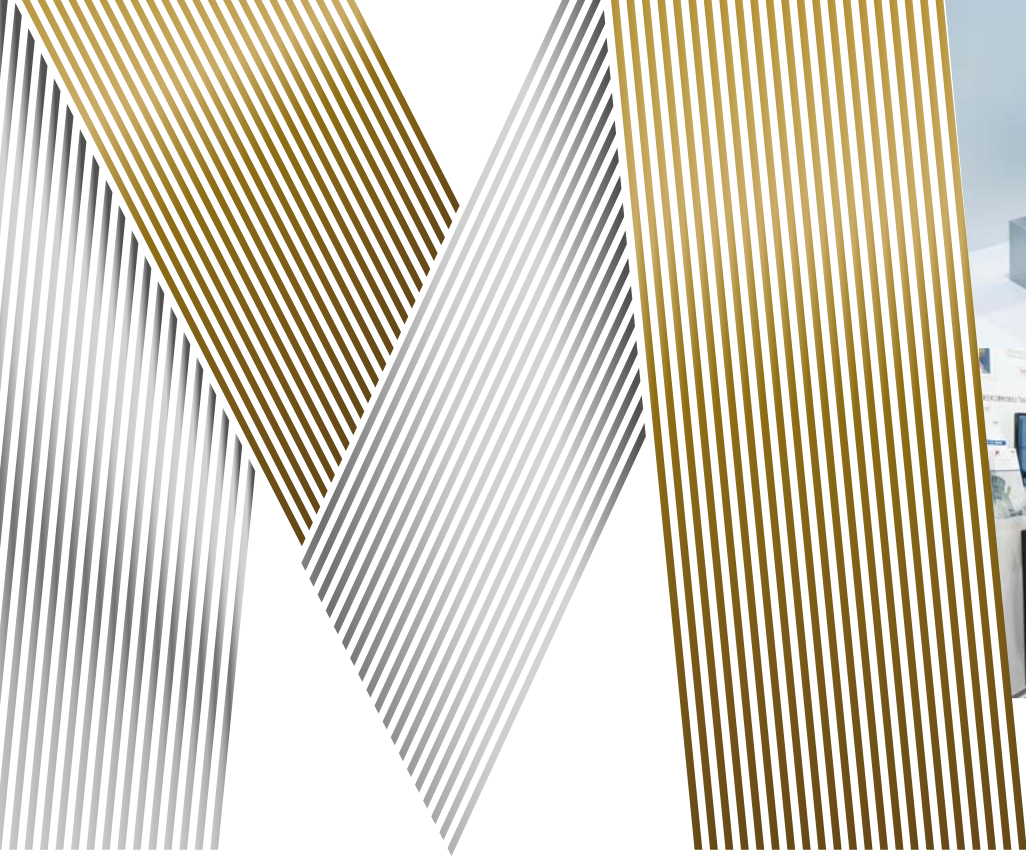
2025年  
4月16<sup>水</sup>日 > 18<sup>金</sup>日  
10:00 > 17:00  
東京ビッグサイト  
〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1

同時開催  
AM(アディティブマニュファクチャリング)の専門展、開催!  
**AM EXPO 東京**  
ADDITIVE MANUFACTURING EXPO TOKYO

主催  一般社団法人 日本AM協会  
Japanese Society of Additive Manufacturing

出展案内





2025の開催テーマ

# 『技術連携で変革をリードする』 素形材産業の最新技術をアピール

INTERMOLD／金型展／金属プレス加工技術展は、  
最新の金型技術から金属プレス加工、プラスチック加工技術まで  
『日本のものづくりを支える素形材産業』の一貫したソリューションを提供します。

自動車のEV化に始まり、AIや自動化の促進、環境への対応など変革期の最中にあるものづくりの世界。  
製造業の中核を担う重要な分野である素形材産業の専門展として、製造業を取り巻く環境の変化に対し、  
金型メーカー、金型ユーザーはどう対応していくのか、そして彼らの仕事を支える工作機械や工具、  
ソフトウェアなどはどう進化しているのか、出展者による最新技術提案と事例紹介などのセミナーで魅せる3日間。  
また、次世代プラスチック加工技術、鍛造技術など、専門フェアも併設し、  
素形材産業と関連業界だけでなく、異業種分野とのビジネスマッチングも促進します。  
中小企業の課題解決とビジネス促進のための商談の場です。  
ものづくり業界でのビジネスチャンスを拡大してください。



人手不足を補う  
AI、IoT、  
ロボットの活用

ものづくり  
×  
自動化

環境への  
対応



グローバル  
マーケットでの  
競争力強化

自動車EV化  
への提案

既存技術  
×  
次世代技術




# 金型・金属プレス加工・プラスチック加工の専門展



自動化・省力化



複合素材・新素材



カーボンニュートラル



ロボット技術・AIの活用



デジタルマニュファクチャリング

## 主な出展物

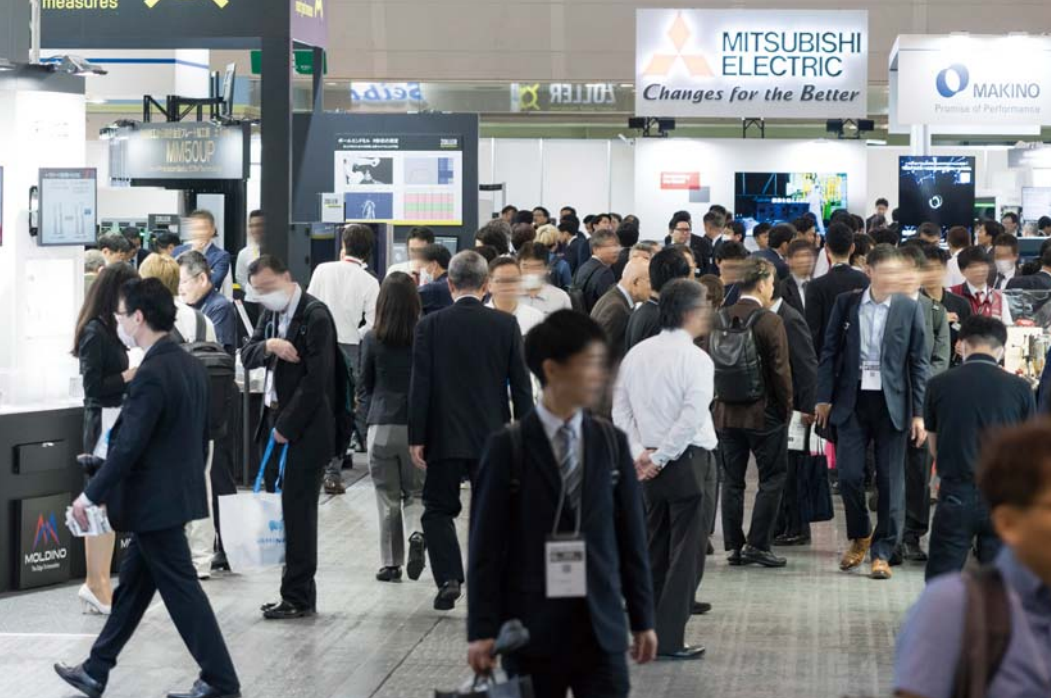
### INTERMOLD / 金型展

- 金型製造技術 (工作機械、放電加工、切削・研削、仕上げ加工、周辺装置)
- ロボット、自動化装置、省力化装置
- 機械工具、研磨、砥石
- IoTソリューション、AI
- CAD/CAM/CAE
- 試作・モデリング
- 金型材料、鋼材、金型部品
- 精密仕上げ、バリ取り、研磨加工
- 熱処理、表面処理、表面改質
- 生産管理システム、DX化、省人化
- 各種成形加工 (金属プレス加工、プラスチック成形、ゴム成形、ガラス成形、鍛造、鋳造、ダイキャスト)
- 環境配慮製品、素材
- 切削工具
- ツーリング・工具保持具、治具
- 金型設計
- 測定器、計測器
- 金型、成形サンプル
- 成形材料
- 洗浄、補修、メンテナンス
- 油剤、ケミカル製品
- 各種部品加工技術など

### 金属プレス加工技術展

- プレス加工機  
(サーボプレス、機械プレス、油圧プレス、トランスファープレス、ファインプランキング、深絞りプレス、粉末成形プレス、冷温・熱間鍛造プレスなど)
- 周辺機器  
(トランスファーシステム、アンコイラー、レベラー、フィーダー、安全装置、その他関連機器)
- ロボット・自動化システム
- プレス金型・プレス金型部品
- 各種金属プレス加工品・成形サンプル
- プレス加工事業者による技術PR

※3Dプリンター、アディティブマニュファクチャリング (金属積層造形、樹脂積層造形 など)は、併催展AM EXPOへご参加ください。



## INTERMOLD / 金型展 / 金属プレス加工技術展の強み

- 1 素形材産業を支える金型、金属プレス、部品加工関連の企業が一堂に会し、技術をPR
- 2 過去40回以上の開催履歴と専門性の高い展示会としての認知度の高さ
- 3 主催団体・関連団体の会員企業を誘致し、業界連携、異業種交流などビジネスマッチングを促進
- 4 アジア各国の金型・部品加工関連企業が多く出展・来場。アジア市場に向けたPRが可能。

### 過去実績

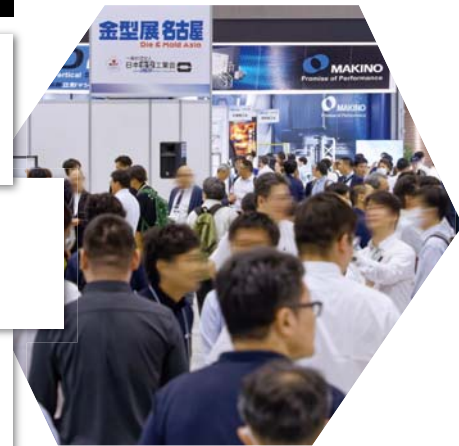
韓国金型工業協同組合/中国国際貿易促進委員会江蘇省分会/大連市金型協会/台湾金型工業会/金山慶南金型工業協同組合/浙江省金型工業会 ほか中国、韓国、台湾企業の参加多数

## 5 豊富な業界交流のチャンス

当展示会期間内に、主催者と出展者、出展者同士の交流を促進する懇親会を企画。業界関係者同士の交流は意外と少ないといわれており同展を通じて交流を深めてもらう事がねらいです。

### 開催実績

開催記念レセプションパーティ、(一社)日本金型工業会若手会「天青会」・「イーグル会」・「型青会」企画、(一社)日本金属プレス工業協会「プレスサロン」、(一社)型技術協会「金型サロン」、ハッピーアワー企画など



## 出展者への提供サービス

事務局では出展効果を高める為に、各種サービスを強化しています。

### 1. 展示会情報、出展者情報の発信

- 公式サイトでの出展者紹介掲載
- 展示会案内リーフレット発行と出展者への無料配布
- メール配信やSNSを通じた展示会、出展者情報の発信
- 後援・協賛団体からの情報発信
- 関係紙誌への展示会情報掲載

### 2. 展示会内セミナー会場でのプレゼンテーション

- テクニカルワークショップやオープンセミナーの開講
- 基調講演、特別講演での業界情報発信

### 3. VIPラウンジ提供

- VIP来場者招待
- VIPラウンジ併設、積極的な商談をバックアップ



## 3都市での開催

東京は奇数年開催、  
大阪・名古屋は偶数年開催を予定

### 1 主要都市の市場へアプローチ

日本の主要都市である東京、大阪、名古屋をカバーすることで、それぞれの地域における市場にアクセス。地域特有の需要や産業構造に対応した展示内容や展示戦略を展開することができます。

### 2 地域ニーズをつかむ

地域ごとに異なる特性やニーズ。複数都市の開催に出展することで、地域ごとの顧客と直接接点を持ち、現地の企業や専門家との交流や商談の機会を増やすことができます。

### 3 交通の便とアクセス

東京、大阪、名古屋は交通の要所に位置しており、国内外からの出展者や来場者にとってアクセスしやすいため、アジアの金型関連企業の出展も増加しています。

### 4 地域特性の反映

東京は日本のビジネスの中心地としての役割が強く、国際的な視点が求められる場合がある一方で、大阪や名古屋は製造業が盛んであり、技術や製品に対する深い理解が求められる場合があります。3都市で開催される当展示会に参加することで、地域特有のニーズやトレンドを見据えたビジネス展開が可能です。

## 主な来場者

### INTERMOLD / 金型展 / 金属プレス加工技術展

- 金型メーカー、成形加工メーカー、金型・成形兼業、部品加工メーカー、商社
- プレス金型、鍛造金型、鋳造金型、ダイカスト金型、ガラス金型、プラスチック金型、ゴム金型、ブロー金型、粉末冶金金型ほか
- 経営・経営企画、購買、営業・販売、研究・開発、設計、製造、生産技術、生産管理、品質管理、情報システム、マーケティング、総務・経理
- 自動車・自動車部品関連、半導体・電子機器関連、家電・通信機器関連、食品・医療・バイオ関連、商社関連、航空・宇宙関連、文具、玩具、建設・建材、研究・教育、公社・官庁

## “来場者への新技術提案”

関係団体にご協力をいただき、各種専門フェアを併催。関連業界や異業種分野とのビジネスマッチングを促進します。フェアへのご参加を希望の際は、出展お申込の際に該当フェアをご選択ください。



## NEW ロボット・AI活用フェア

人材不足、技術の継承、高付加価値追求など課題の多い製造業で、これらの課題を解決できるもの1つとしてロボット・AIの活用が言われています。生産ラインの稼働率を上げる、品質管理に導入して製品の不良をリアルタイムに検出する、材料の使用量を最適化する、生産データの分析により機器の故障を予測するなどの予防保全を行うなど、ダウンタイムを減らすことで生産性の向上が期待できます。これらロボット、AI技術を活用することで、技術者はより高い技術が必要となる生産現場に注力することができ、競争力の向上が実現されます。このフェアではものづくり中小企業へのロボット技術、AI活用の提案が可能です。



- 出展対象**
- 協働ロボット、産業用ロボット、自動搬送ロボット
  - システムインテグレーション
  - シミュレーション、画像解析ソフト、AIシステム
  - データ解析、予知保全
  - メンテナンス

## 製造業DXフェア

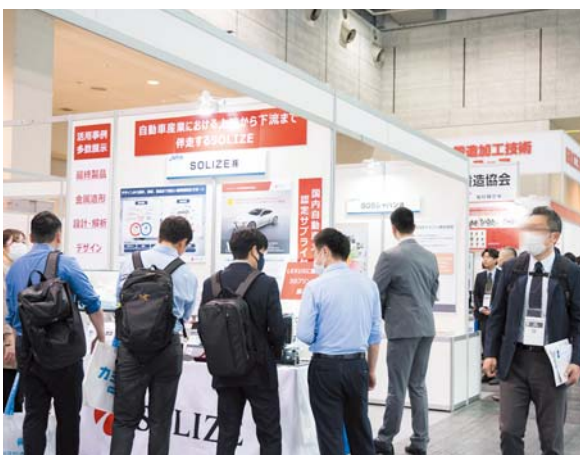


製造業の現場は、営業と技術の情報共有、あらゆる生産過程の効率化、自動化などスマートファクトリー化、省力・省人化、付加価値向上など多くの課題を抱えています。「製造業DXフェア」では、避けて通れないDX化への課題を抱える企業や団体に向けて、工場だけでなく事務所、オフィスなど「ヒト」がかかる全ての生産現場の変革となるシステムやサービス、機械などの最新情報発信します。

- 出展対象**
- IoTソリューション
  - クリーンルーム恒温室
  - 刻印機
  - セキュリティ関連
  - 監視、防犯カメラ
  - 作業管理システム
  - PLM/PDM、MES (製造実行システム)
  - ERP (基幹資源計画)
  - MRP (資材所要量計画)
  - SCADA (監視制御システム)
  - WMS (倉庫管理システム)
  - 生産管理システム
  - 機械稼働管理システム

## 自動車部品製造技術フェア

世界の製造業をリードする日本の自動車部品製造技術を披露します。大変革を迎えている自動車業界。脱炭素社会がEV化を加速させ部品加工も統合や標準化、軽量化など、急速な技術革新が求められています。ますます激化する自動車業界の大手メーカーから1、2次サプライヤー、中小企業まで、最先端の自動車部品製造技術を紹介します。



- 出展対象**
- 自動車部品メーカー
  - 自動車部品サプライヤー
  - 機能部品製造技術
  - 部品製造設備・工作機械・工作機器・工具・治具・精密測定器・試験装置・検査装置
  - 高機能素材・高機能部材
  - 共同受注・開発グループ
  - 企業連携・産学連携グループ

**フェア協力団体：一般社団法人 日本自動車部品工業会** **JAPIA**  
Japan Auto Parts Industry Association

日本自動車部品工業会は国内約430社の自動車部品メーカーが加盟し、世界中で事業活動を展開している会員企業が抱える様々な課題に取り組んでいます。現在、自動車産業は100年に一度の変革期を迎え、CASE・MaaSといった大きな構造変化への対応に迫られる中、当会では「グリーン(CN)」「デジタル(DX)」「レジリエンス」「取引適正化」などを重点施策として、事業活動を進めております。

## 鍛造加工技術フェア

鍛造品は、機械工業のあらゆる重要保安部品として使用され、安定した生産力、高品質、技術力で生産されなければいけません。日本の伝統である「鍛冶屋魂」をもとにこれらの条件を満たした日本の鍛造品の信頼性は高く国内外からの需要に応えています。しかし、高品質を保ちながらもさらなる低コスト化、高付加価値化、軽量化に向けた技術開発など日々進化を要求されています。本フェアでは鍛造加工業界のみならず業界をサポートする設備関連業界から最新の技術、機械等の製品情報を発信し、各社が抱える問題解決と提案を行いビジネス促進につなげます。

### 出展対象

- 鍛造加工機（ハンマ、冷間・温間・熱間鍛造プレス、ローリングミル、アプセッタなど）
- 周辺機器、装置（切断機、加熱装置、検査・測定機器など）
- ロボット、自動化システム
- 金型、表面処理
- CAD、CAM、CAE
- 潤滑剤
- 各種鍛造加工品
- 成形サンプル
- 鍛造加工事業者による技術PR

フェア協力団体：一般社団法人 日本鍛造協会 

鍛造業界を取り巻く環境は、押し寄せる電動化の波、カーボンニュートラル、エネルギー問題、情勢不安、為替、労働力不足等、まさに混迷の時代の中、企業の存続をどのように考えるかが喫緊の課題となっています。このような状況下において、各社は、国内外での競争力を高めるべく、自社の保有技術とデジタル技術を融合し、軽量化をはじめ、省エネ、低コスト、高付加価値化、さらなる高品質化に向けた技術開発に取り組んでいます。



## 次世代プラスチック加工フェア



金型業界においても、主要原料かつ主な加工製品の1つであるプラスチック。環境負荷が小さい素材への変更や加工技術の対応など、様々な課題を抱えています。生分解性プラスチックやバイオプラスチックなど、次世代素材やその加工技術、各企業・団体の取り組みなどを紹介し、最先端情報を広く発信します。

### 出展対象

- 射出成形機
- バイオマス・生分解性プラスチック
- 生分解性プラスチック加工
- 再生プラスチック加工
- 各種成形機
- 省エネ
- 再利用
- リサイクル など

フェア協力団体：小松技術士事務所

国連ではライフサイクルを通じてプラスチック汚染の悪影響から人の健康と環境を守る「プラスチック条約」の制定作業が進行しています。気候変動の抑止、海洋マイクロプラスチック汚染ゼロを実現するために世界各国の政府や産業界は、現実的な取り組みを急ピッチで始めました。特に米国ではバイオプラスチック使用比率を20年以内に90%を目指す大統領令が出され、化石資源由来プラスチックの代替が急速に進んでいます。

日本政府は、G20大阪サミットで採択された2050年までに新たな海洋プラスチックゼロを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を掲げ、世界をリードする立ち位置にいますが、その実現にはバイオマスを原料として化学合成されたバイオプラスチックや生分解性プラスチックの活用が避けられません。

世界の事業者は、日本の優れたバイオプラスチック製品生産に使用する金型技術、成形機や周辺機器に大きな期待を寄せています。精密で信頼性の高いものづくりの伝統を活かした日本の金型イノベーションが新たなステージへ踏み出そうとしています。

## 航空機部品加工技術フェア

新素材・新素材加工技術、宇宙産業・防衛産業・防衛装備品産業、エネルギー産業へ参入する中小企業が主役。競争力を持つ特殊な技術や高付加価値技術のある中小企業と、大手メーカーやサプライヤーとのビジネスマッチングを目指し、業界の最新技術や新素材に関する情報を発信します。

### 出展対象

- 航空機部品メーカー
- 高機能素材、特殊素材メーカー
- 装備品メーカー
- 内装品メーカー
- 共同受注・共同開発グループ
- 企業連携・産学連携グループ
- 空飛ぶクルマ・ドローン



フェア協力団体：まんとんプロジェクト 

航空・宇宙分野がかかえる課題や新たに参入するために必要な情報、技術、ノウハウなどを取り上げて、会員企業が求める多様なニーズに対応する取り組みを進めています。具体的には、会員企業の得意技術を活用した航空宇宙関連部品や民生品の受注業務や航空・宇宙関連分野の動向、技術情報の課題などを取り上げた講演会、会員企業の得意技術を紹介するための展示会への出展、研究機関や企業への見学会を実施しています。



# “来場者への積極的なプレゼンテーションのチャンス”

「新製品発表」「ユーザーケース発表」「課題解決提案」「業界最新情報提供」など、出展小間での展示以外に来場者へ情報提供できるチャンスとしてセミナースペースを提供します。有料セミナーやユーザー会などクローズドなセミナー開講をご希望の場合は「テクニカル・ワークショップ」、展示会場内を通行する来場者へ広く訴求されたい場合は「オープンセミナー」など出展者の目的に応じてプレゼンテーションスペースをご選択いただけます。

開講を予定もしくは検討される出展者は、出展申込の際にセミナー開講希望欄にチェックをお願いします。後日改めて開講申込を行っていただきます。

※各プレゼンテーションセミナーの受講定員については、状況に応じ変更になる場合があります。

## テクニカル・ワークショップ



事前登録制、クローズド、オープン形式など、出展者が目的に応じて運営できるプレゼンテーションセミナーです。

製品・技術のPRセミナーとしてだけでなく、「ユーザー会」「新製品発表会」のほか、有料セミナー会場として利用することもできます。

※セミナー会場入口での受付は出展者ご自身で行っていただきます。  
※プログラムは、事務局にて調整します。

会場 東京ビッグサイト  
会議室 または 会場内特設会場

定員 80~100名程度 ※スクール形式

開講料 60分 / 110,000円(税込)  
90分 / 143,000円(税込)

## オープンセミナー



展示ホール内に、オープン形式のセミナー会場を設けます。来場者は展示ブースを移動する間に、興味のあるセミナーを自由に聴講できます。

新規顧客に対して、新製品・新技術のPRが可能となり、自社ブースへ誘導するチャンスにもなりますので、展示との相乗効果に期待できます。

※複数のセッションを開講することも可能です。(複数開講値引き有り)  
※プログラムは、事務局にて調整します。

会場 東京ビッグサイト  
展示場内特設会場(オープンスペース)

定員 約30~40名 (座席設置数。但し、立ち見も可能です)

開講料 45分 / 66,000円(税込) ※時間延長は出来ません。

## 2023東京展 セミナー紹介 (※社名・部署名・役職などは開催当時のまま)

### 基調講演・特別講演

#### ○基調講演

#### 『環境変化に対応するデンソーのモノづくり革新』

講師：株式会社デンソー 経営役員 海老原 次郎 氏

#### ○特別講演

#### 『自動車プラスチック部品の動向と技術開発』

講師：日産自動車株式会社 生産技術研究開発センター  
プラスチック・エキスパートリーダー 水谷 篤 氏

他16セッション

### テクニカル・ワークショップ 前回開講実績

#### ○『金型部品の高品位加工・高精度加工に貢献するファナックの技術』

講師：ファナック株式会社 ロボマシニング事業本部 ロボマシニングセールス推進部 部長 寺嶋 洋也 氏

#### ○『CAE×AI×自動化』機械学習と自動化を用いた設計の効率化』

講師：SCSK 株式会社 製造エンジニアリング事業本部 プロダクト推進部 ご担当者様

#### ○『カーボンニュートラルとSDGsに貢献する三菱電機最新技術紹介』

講師：三菱電機株式会社 産業メカトロニクス製作所 放電製造部電気制御設計課 近久 晃一郎 氏

#### ○『計測機能搭載のデジタルプロファイル研削盤 DPG-150 の紹介』

講師：株式会社アマダマシナリー 研削実証加工グループ 小塚 正啓 氏

他5セッション

### オープンセミナー 前回開講実績

#### ○『特殊溶接技術及びオフラインティーチングソフト新製品のご紹介 『肉盛りくん』『特盛りくん』』

講師：南海モルディ株式会社 MOLDe 製品開発室 室長 福原 千里 氏

#### ○『多品種少量時代を生き抜く、企画・設計の考え方 ~最終製品に3D プリンターを取り入れた国内事例を交えてご紹介~』

講師：SOLIZE 株式会社 デジタルエンジニアリング開発統括部  
サービス開発部 チームリーダー 櫻井 文嶺 氏

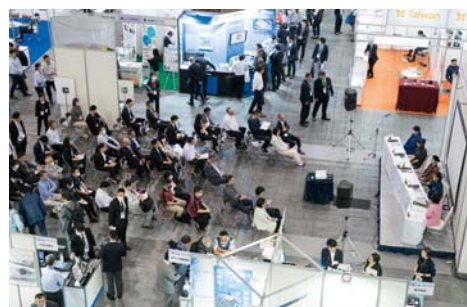
#### ○『アリコナ最新ソフト MetMax と金型自動測定ソフトパンチメジャメント』

講師：株式会社ユーロテック 営業部アリコナグループ営業チーム 主任 藤田 篤 氏

#### ○『高硬度材、穴あけによる金型製作工程短縮』

講師：株式会社イワタツール 代表取締役社長 岩田 昌尚 氏

他19セッション





## 2024大阪展 セミナー紹介 (※社名・所属・役職などは2024年大阪開催当時のまま)

### 特別講演

#### ○特別講演

##### 『自動車産業を取り巻く環境変化と金型を軸とした競争力について』

講師：トヨタ自動車株式会社 モノづくり開発センター 素形材技術部 主査 門野 英彦 氏

##### 『中国ギガダイキャスト型の現状及び勢い（日本語講演）』

講師：中国模具工業協会 シンクタンク専門家（管理型） 中国模具工業協会鑄造模具委員会 常務副主任  
大連市模具協会常務副会長 共立精機（大連）有限公司 董事長 孟 強 氏

他10セッション

### テクニカル・ワークショップ 前回開講実績

#### ○『金型部品の高品位加工・高精度加工に貢献するファナックの技術』

講師：ファナック株式会社 ロボマシ事業本部  
ロボマシセールス推進部 課長 櫻川 智信 氏

#### ○『～BIG～ 生産性向上テクニカルセミナー』

講師：大昭和精機株式会社 営業技術部 課長 岩村 卓 氏

#### ○『加工能率向上による高付加価値加工を実現するための取り組み』

講師：日進工具株式会社 営業部営業支援グループ営業技術課 主任 福嶋 裕也 氏

#### ○『「フォームコントロール X」デビュー！ 次世代のワーク自動測定&追加プロセスをご紹介』

講師：ブルーム・ノボテスト株式会社 営業部  
営業技術チーム アカウントマネージャー 武部 隆 氏

他4セッション

### オープンセミナー 前回開講実績

#### ○『次世代アンダーカット成形ユニット“すっぽん”』

講師：株式会社テクノクラーツ 代表取締役社長 反本 正典 氏

#### ○『最先端 CAE(Moldex3D) を用いた射出成形不具合予測とその最新動向』

講師：株式会社 JSOL エンジニアリング事業本部 高橋 大輔 氏

#### ○『樹脂流動解析 Moldex3D の解析精度向上の取り組み ～成形機の特徴を考慮した解析～』

講師：株式会社セイロジャパン Moldex ソリューションセンター 課長 田中 久博 氏

#### ○『X 線を活用した非破壊検査技術と応用事例』

講師：バルステック工業株式会社 係長 谷高 弘将 氏

他14セッション

## 2024名古屋展 セミナー紹介 (※社名・部署名・役職などは開催当時のまま)

### 基調講演・特別講演

#### ○基調講演

##### 『日本の素形材産業の展望』

講師：経済産業省 製造産業局 素形材産業室 室長 星野 昌志 氏

#### ○自動車部品製造技術フェア 特別講演

##### 『ダイカスト技術とギガキャストの動向』

講師：リョーヒ株式会社 ダイカスト企画開発本部 研究開発部 部長 新田 真 氏

他15セッション

### テクニカル・ワークショップ 前回開講実績

#### ○『成功事例に見る令和のプレスの選び方』

講師：ベスト プレスマン 高橋 実 氏

#### ○『金属プレスシミュレーションによる金型造形プロセスの改善と 方案検討の効率化』

講師：サイバネットシステム株式会社 デジタルエンジニアリング事業本部  
エンジニアリング事業部 メカニカル技術部 福原 真人 氏

#### ○『表面処理による金型寿命の向上』

講師：エリコンジャパン株式会社 バルザース事業本部 営業本部 ツール営業部  
プロダクトマネージャー フォーミングツールズ 大崎 隆史 氏

#### ○『中大物金型における最新加工事例のご紹介』

講師：株式会社牧野フライス製作所  
カスタマアプリケーションセンタ カスタマサポート部 武藤 功一郎 氏

#### ○『工期 50% 短縮を実現！ Cimatron によるプレス金型 3D 設計とは？』

講師：株式会社セイロジャパン Cimatron 課 テクニカルマネージャー 高村 真二 氏

### オープンセミナー 前回開講実績

#### ○『TopSolid'Mold による プラスチック金型・ダイキャスト金型設計・製作の効率化』

講師：コダマコーポレーション株式会社

#### ○『射出成形金型の設計効率向上に寄与するシミュレーション技術』

講師：サイバネットシステム株式会社 エンジニアリング事業部 中原 裕介 氏

#### ○『カナック処理及び EVOLK 処理を活用した金型の長寿命化の提案』

講師：株式会社カナック 代表取締役 堀越 弘也 氏

#### ○『量産工法としての 3D プリンター活用最前線』

講師：SOLIZE 株式会社  
デジタルマニュファクチャリングサービス事業部 AMシステム部 小澤 純一 氏

#### ○『試作から小ロット生産まで対応する Formlabs 社製 3D プリンタシリーズのご紹介』

講師：株式会社データ・デザイン テクニカルユニット 山本 彩乃 氏

他23セッション



# 前回開催実績 2023東京展

## 開催データ

※大阪と東京は毎年4月に隔年で開催しています。2023年東京展の結果については、事務局までお問い合わせください。

## 開催概要

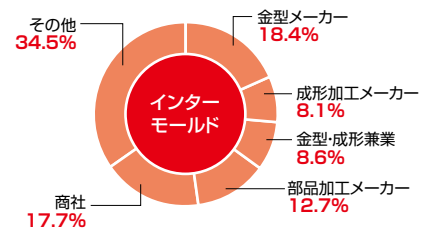
名称	INTERMOLD 2023 (第34回 金型加工技術展) / 金型展2023		金属プレス加工技術展2023	
会期	2023年4月12日(水)~15日(土) 10:00~17:00(最終日は~16:00)			
会場	東京ビッグサイト 東1・2			
出展規模	409社・団体 702小間			
出展状況	金型・金型材・金型部品等 260社	プラスチック加工機械・関連機器 13社	工作機械 35社	
	精密測定機器・光学測定機器 24社	工作機械用付属機器など 18社	CAD/CAM/CAE システムなど 40社	
	切削工具 22社	試作・モデリング・3Dプリンター関連 41社	機械工具・研磨・砥石関連 16社	
	精密部品加工技術 139社	金属加工関連機器 55社	各種団体・研究機関など 14社	
	各種油剤・ケミカル製品など 17社	ロボット・自動化 35社	プレス加工機 21社	
	図書・文献・資料 7社	プレス加工機用周辺機器 12社		

## 来場者数 39,045人

日付	天候	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展	VIP
4月12日(水)	晴れ	5,783人	1,438人	1,481人	132人
4月13日(木)	晴れ	7,822人	1,883人	1,776人	145人
4月14日(金)	晴れ	9,267人	2,245人	2,137人	154人
4月15日(土)	雨	3,002人	913人	814人	53人
合計		25,874人	6,479人	6,208人	484人

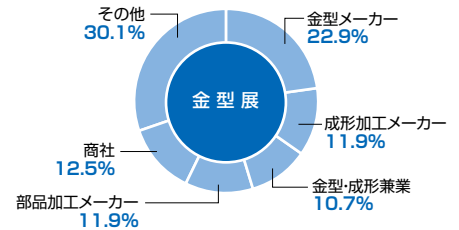
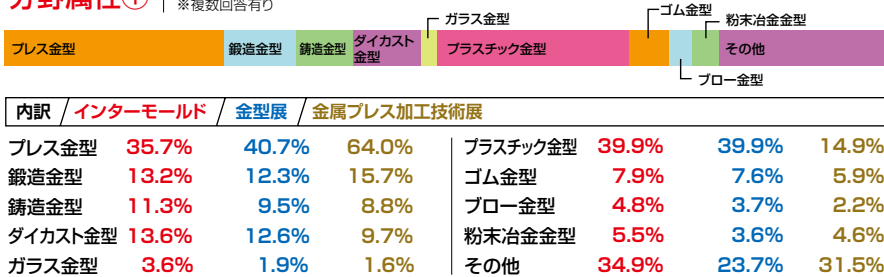
## 来場者業種分類

※各項目の「比率」は小数点第二位までを表示



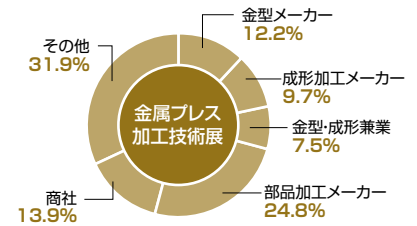
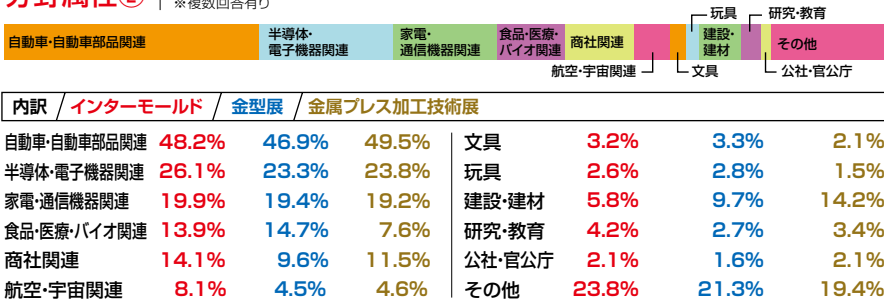
## 分野属性①

※下記数字は回答数を表示  
※複数回答有り

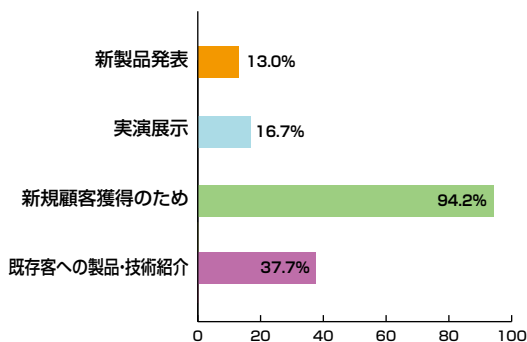


## 分野属性②

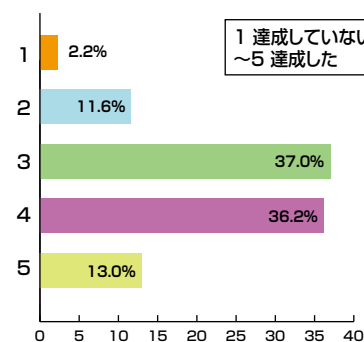
※下記数字は回答数を表示  
※複数回答有り



## 出展の目的



## 左記目的の達成について



## 来場者の地域分類

	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展
北海道地区	0.3%	0.3%	0.7%
東北地区	3.1%	2.7%	2.0%
関東地区	68.7%	72.8%	71.7%
中部地区	13.7%	12.4%	11.6%
北陸地区	2.7%	2.0%	2.2%
近畿地区	5.8%	4.6%	7.1%
中国・四国地区	1.7%	1.6%	1.4%
九州・沖縄地区	1.3%	1.6%	1.4%
海外	2.7%	2.0%	1.9%

※各項目の「比率」は小数点第二位までを表示

# 前回開催実績 2024大阪展

## 開催データ

### 開催概要

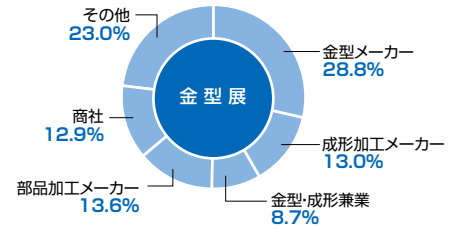
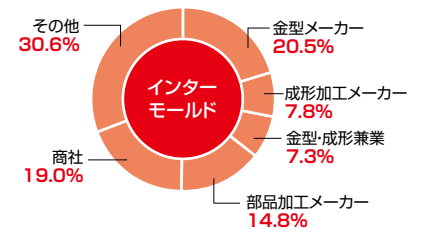
名称	INTERMOLD 2024 (第35回 金型加工技術展) / 金型展2024		金属プレス加工技術展2024			
会期	2024年4月17日(水)~19日(金) 10:00~17:00					
会場	インテックス大阪 6号館 A・B					
出展規模	395社・団体 699小間					
出展状況	金型・金型材・金型部品等	248社	プラスチック加工機械・関連機器	13社	工作機械	32社
	精密測定機器・光学測定機器	28社	工作機械用付属機器など	14社	CAD/CAM/CAE システムなど	41社
	切削工具	17社	試作・モデリング・3Dプリンター関連	52社	機械工具・研磨・砥石関連	14社
	精密部品加工技術	128社	金属加工関連機器	41社	各種団体・研究機関など	14社
	各種油剤・ケミカル製品など	15社	ロボット・自動化	33社	プレス加工機	29社
	図書・文献・資料	9社	プレス加工機周辺機器	19社		

### 来場者数 37,057人

日付	天候	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展	VIP
4月17日(水)	晴れ	5,822人	1,914人	1,731人	246人
4月18日(木)	晴れ	7,445人	2,143人	2,436人	277人
4月19日(金)	晴れ	9,326人	2,771人	2,739人	207人
	合計	22,593人	6,828人	6,906人	730人

### 来場者業種分類

※各項目の「比率」は小数点第一位までを表示



### 分野属性①

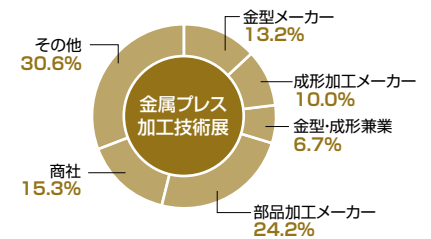
※下記数字は回答数を表示  
※複数回答有り

分野	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展
プレス金型	36.1%	39.9%	66.4%
鍛造金型	15.1%	14.8%	16.5%
鋳造金型	12.3%	11.6%	9.6%
ダイカスト金型	16.2%	14.2%	11.0%
ガラス金型	2.9%	3.0%	2.0%
プラスチック金型	34.8%	40.8%	15.0%
ゴム金型	8.2%	9.5%	6.2%
ブロー金型	4.3%	4.6%	2.7%
粉末冶金金型	5.0%	4.3%	4.4%
その他	36.8%	20.4%	30.1%

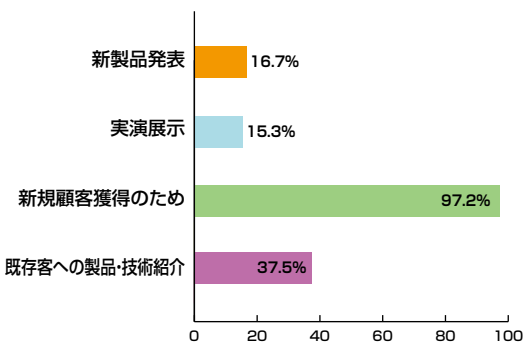
### 分野属性②

※下記数字は回答数を表示  
※複数回答有り

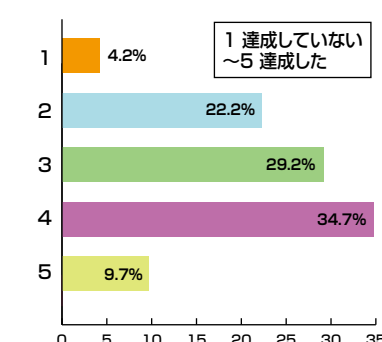
分野	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展
自動車・自動車部品関連	49.6%	54.4%	49.6%
半導体・電子機器関連	23.0%	21.4%	22.8%
家電・通信機器関連	18.2%	22.2%	20.1%
食品・医療・バイオ関連	12.3%	13.8%	7.3%
会社関連	15.9%	9.8%	14.1%
航空・宇宙関連	6.7%	4.6%	4.6%
文具	2.5%	4.3%	1.9%
玩具	2.0%	3.1%	1.2%
建設・建材	8.2%	12.8%	18.0%
研究・教育	3.3%	3.0%	2.2%
会社・官公庁	1.3%	0.9%	1.6%
その他	25.0%	21.7%	23.5%



### 出展の目的



### 左記目的の達成について



### 来場者の地域分類

地域	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展
北海道地区	0.2%	0.1%	0.1%
東北地区	0.6%	0.4%	0.4%
関東地区	7.3%	4.5%	5.1%
中部地区	12.0%	11.5%	10.3%
北陸地区	1.8%	2.3%	1.9%
近畿地区	68.0%	69.4%	74.2%
中国・四国地区	5.1%	5.8%	5.4%
九州・沖縄地区	1.6%	2.1%	1.0%
海外	3.4%	3.9%	1.6%

※各項目の「比率」は小数点第一位までを表示





開催概要

東京展	
名称	INTERMOLD 2025 (第36回金型加工技術展) / 金型展2025 <span style="float: right;">金属プレス加工技術展2025</span>
会期	2025年4月16日(水)~18日(金) 3日間 10:00~17:00
会場	東京ビッグサイト(〒135-0063 東京都江東区有明3丁目11-1)
主催	一般社団法人日本金型工業会 <span style="float: right;">一般社団法人日本金属プレス工業協会</span>
運営	インターモールド振興会(テレビ大阪エクスプロ内)
公式サイト	<a href="https://www.intermold.jp/">https://www.intermold.jp/</a>
予想来場者数	40,000人(同時開催展を含む)
入場料	3,000円(税込) ※事前登録の上、来場者証持参者は無料
後援	経済産業省、東京都、独立行政法人日本貿易振興機構、東京商工会議所、日本経済新聞社、独立行政法人中小企業基盤整備機構(順不同/申請予定)
併催展	AM EXPO東京
協賛	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>一般社団法人日本工作機械工業会、一般社団法人日本鍛圧機械工業会、日本工作機械輸入協会、一般社団法人日本金属プレス工業協会、日本精密機械工業会、日本機械工具工業会、一般社団法人日本鍛造協会、一般社団法人日本工作機器工業会、日本精密測定機器工業会、日本光学測定機工業会、ダイヤモンド工業協会、一般社団法人型技術協会、一般社団法人日本プラスチック機械工業会、一般社団法人日本ダイカスト協会、一般社団法人日本塑性加工学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人精密工学会、一般社団法人日本自動車部品工業会、一般社団法人日本鑄造協会、一般社団法人日本AM協会(順不同/申請予定)</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>一般社団法人日本自動車部品工業会、一般社団法人日本鍛圧機械工業会、一般社団法人日本金型工業会、一般社団法人型技術協会、一般財団法人素形材センター、一般社団法人日本産業機械工業会、一般社団法人日本ダイカスト協会、一般社団法人日本金属熱処理工業会、一般社団法人日本鑄造協会、一般社団法人日本鍛造協会、一般社団法人日本バルブ工業会、日本粉末冶金工業会、一般社団法人日本塑性加工学会、一般社団法人日本機械学会、公益財団法人天田財団、公益財団法人金型技術振興財団、中央労働災害防止協会(順不同/申請予定)</p> </div> </div>

同時開催

# AM EXPO 東京

ADDITIVE MANUFACTURING EXPO TOKYO

2025年 4月 16日(水) > 18日(金)

10:00 > 17:00

東京ビッグサイト

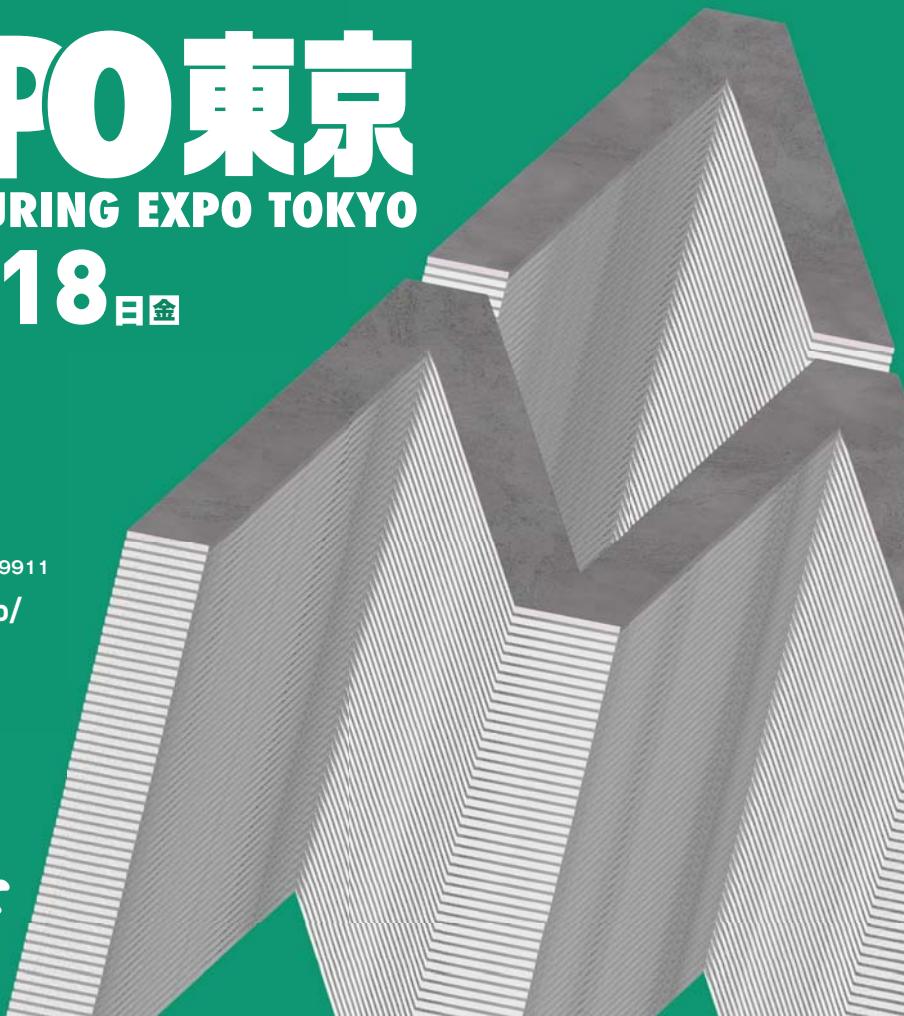
〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1

主催  一般社団法人 日本AM協会  
Japanese Society of Additive Manufacturing

共催 & 運営 インターモールド振興会 TEL:06-6944-9911

[https://www.intermold.jp/am\\_expo/](https://www.intermold.jp/am_expo/)

AMの活用促進と、  
ものづくり分野で  
ビジネスマッチングを



# 主な出展規程

## 1. 出展料金等の請求と支払い、返金等について

事務局が出展申込書の記載事項を確認の後、出展者に出品料金の請求書を送付します。出展者は、請求書記載の期日までに出品料金全額を事務局指定の口座へ振込むものとし（お支払いは銀行振込のみで、手形・小切手・直接現金でのお支払いは受け付けておりません）。なお、出品料金を含め本展示会に関する全ての支払い、返金についての振込手数料は出展者が負担するものとします。

## 2. 出展申込みの受理、成立期日について

出展者が事務局の定める手続きを行い、その出展申込書（申込みシステムの利用、出展申込書の郵送、ファックス、eメールなど）を事務局が受領した時点で申込成立とします。ただし、出展内容が展示会趣旨にそぐわない場合や出展資格を有しないと事務局が判断した場合は出展をお断りする場合があります。

## 3. 出展申込の取消（キャンセル）

- (1) 出展申込の取消または申込内容の変更は原則として認めませんが、やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更（出展小間数の一部キャンセルなど）を行う場合には、その理由を明記した文書を事務局に提出し、承諾を得て下さい。
- (2) やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更を行う場合には、その時期に応じて下記の出展取消料（角小間料金含む）をお支払い下さい。なお、下表は事務局が出展者からの取消・変更通知書面を受領した日を基準とします。

書面による取消・変更通知を受領した日	出展取消料
2024年11月1日～2024年12月23日	出展料金（税込）の 10%
2024年12月24日～2025年1月7日	出展料金（税込）の 50%
2025年1月8日～2025年1月31日	出展料金（税込）の 75%
2025年2月1日以降	出展料金（税込）の100%

- (3) 出展者が上記相当金額を支払っていないときは、取消通知後、直ちに支払うものとします。出展者が既に支払った金額が上記相当金額を超過している場合は、超過分を事務局より返金します。この場合、振込手数料は出展者の負担とします。
- (4) 事務局は、次に該当する場合、出展者に対し、何らの予告無しに出展を取消することができ、また、出品料金全額をお支払いいただきます。この場合、事務局は当該場所を適切な方法で使用することができるものとします。
  - ① 2025年1月31日（金）までに出品料金を完納しない場合
  - ② 事前申告なしに搬入日の2025年4月15日（火）12時までに小間の使用を開始しない場合
  - ③ 出展規程および関連規程に記載の事項に違反し、事務局の催告によっても改善が認められない場合

## 4. 小間位置の決定

- (1) 小間の位置は、出展物の内容、申込順位、出展実績、会場全体の構成、実演の有無などを考慮して事務局が行い、後日通知します（予定）。出展者は小間の割当てについて、苦情や出展取消等を申し出ることはできません。
- (2) 主催者は、消防法令上または出展者の展示効果向上のために小間図面を変更し、それに伴い小間を再配置することができます。その際、出展者は小間位置変更に関する損害賠償請求はできないものとします。

## 5. 小間の転貸等の禁止

出展者は、割り当てられた小間の全部または一部を第三者に譲渡・貸与もしくは出展者相互において交換することはできません。

## 6. 共同出展者の取り扱い

2社以上の会社が共同出展をする場合は、原則として1社が代表して申し込むものとし、出品料金などの各請求をはじめとする事務局からの全ての連絡は、申込者の実務担当者へのみ通知するものとします。なお、共同出展する社名の表記は、出展者名併記の場合のみとします。

## 7. 出展物および展示装飾・実演に関する規制と撤去・搬出

- (1) 小間内の出展物および装飾物等が、後日事務局より通知される期日以内に撤去・搬出されない場合は、出展者の費用負担で、事務局により撤去・搬出できるものとします。
- (2) いかなる方法でも、近隣の小間の妨げとなる小間の造作はできないものとし、近隣小間の出展者から苦情がでた場合、事務局が展示会運営上の立場から判断し、小間装飾などの変更が必要と判断した場合は、当該小間の出展者はその変更へ同意するものとします。この場合に発生する費用は、出展者の負担とします。

(3) 事務局は展示会開催趣旨・目的などの観点から問題があると思われる出展物の展示や装飾に関して規制または撤去する権限を有するものとします。この場合、事務局は出展者に対して輸送・展示費用などの負担や出品料金などの返金について一切の責任を負わないものとします。

(4) 出展者は開催期間中、各種規程を遵守しブース運営を行うこととします。また、全期間においてブース運営責任者、またはそれに準ずる者が展示ブース、各種会場にて立ち会わなければならないこととします。原則、ブースを無人で運営することはできません。

## 8. 出展物の管理と免責

主催者は、出展物の管理・保全について警備員を配置するなど会場全体の管理・保全にあたりますが、出展物への天災、不可抗力、盗難、紛失などあらゆる原因により生じる出展物への損失または損害についてその責任を負わないものとします。出展物、備品の管理は出展者の責任の下、万全を期して行って下さい。

## 9. 損害賠償

出展者は、出展者自身または出展者指定の業者などの代理人の不注意、その他の理由により、展示会場設備または展示会建造物もしくは人身などに対して与えた一切の損害について責任を負うものとします。出展者は保険へ加入するなど、十分な対策を講じて下さい。

## 10. 展示会開催概要の変更または開催中止について

主催者は、天災および本項に定めるその他の不可抗力により展示会の開催が著しく困難となった場合、開催概要の大幅な変更、会期・会場を変更、展示規模の縮小、または開催を中止することがあります。主催者は、この決定および実行により被る出展者に生じた損害や費用の増加、その他不利な事態に陥るなどに対する一切の責任を負わないものとします。

(1) 会期変更の取り扱いについて  
出展申込みは、変更された会期等についても有効とし、変更などを理由として出展を取消することはできません。

(2) 出展料金の返金について  
主催者が展示会開催を事前または会期中に中止した時は、既納出品料金から下記に定める金額を返金します。その際、銀行振込手数料は出展者の負担とします。また、主催者が会期変更（延期）を行った場合は、既納出品料金の返金は行わないものとします。  
会期変更を行った際は、その変更した開催日程に応じた出品料金の返金規程を、主催者および事務局が設定するものとします。

### 中止による既納出品料金の返金割合

2024年12月31日まで	出品料金（税込）の全額返金
2025年1月1日～2025年1月31日	出品料金（税込）の65%返金
2025年2月1日～2025年2月28日	出品料金（税込）の50%返金
2025年3月1日～2025年3月31日	出品料金（税込）の35%返金
2025年4月1日～2025年4月12日	出品料金（税込）の25%返金
2025年4月13日以降	出品料金の返金は行いません。

(3) 不可抗力について  
戦争、暴動、反乱、内乱、テロ、火災、爆発、洪水、盗難、害意による損害、ストライキ、立入制限、天候、第三者による差止行為、国防、公衆衛生に関わる緊急事態、国または地方公共団体の行為または規制など、主催者のコントロールの及ばないあらゆる原因をいいます。

## 11. 日本国内への入国手続き

出展者が、本展示会への出展のため日本国内への入国手続きを必要とする場合、出展者は自己の責任において日本国内への入国手続きを行うものとし、入国審査に関わる全ての手続きならびに経費に対しては、主催者は一切の責任を負わないものとします。また、何らかの理由によりわが国に入国できないために出展申込を取り消す場合には、出展者は主催者に対し、「3. 出展申込の取消（キャンセル）」に定める規程によりキャンセル料を支払うものとします。

## 12. 規程の遵守

出展者は本出展規程をはじめとする主催者が定める諸規程を遵守することに同意のうえ出展申込みをするものとし、この点において将来いかなる時点においても一切の異議を申し立てないこととします。出展者は主催者が定める全ての規程を本展および出展者の利益保護のためのものと解釈し、その実行に協力するものとします。

# 出展料金 / 申込方法

## 出展料金

種別	Aタイプ (スペースのみ)	Bタイプ (基礎装飾・設備付き)	新設 Cタイプ (基礎装飾・設備付き)
一般	451,000円 (税込)	572,000円 (税込)	638,000円 (税込)
※正会員・賛助会員価格は主催団体の会員のみ適用			
賛助会員	396,000円 (税込)	517,000円 (税込)	
会員	374,000円 (税込)	495,000円 (税込)	

※正会員および賛助会員価格は主催団体（一社）日本金型工業会および（一社）日本金属プレス工業協会の会員に限る

## 小間仕様

サイズ/9m<sup>2</sup>

間口(W)約3m×奥行(D)約3m×高さ(H)2.7m

※Bタイプ:内寸法 間口2.93m×奥行2.93m

単列または複列を選択

(複列は4小間以上の出展に限ります)

## 角小間指定料

66,000円(税込) (1・2小間の申込者のみ対象)

## 特別割引制度

### 早期申込割引(全出展企業対象)

申込受付開始～10/31までの申し込みで、

出展料金を **10% OFF** します

※正会員、賛助会員、一般いずれも対象

※初出展割引との併用可

### 初出展割引(全種別での出展が対象)

初出展の企業について、

出展料金を **5% OFF** します

※対象:一般のみ(正会員、賛助会員は対象外)

※早期割引との併用可

## 小間設備内容

### Aタイプ(スペースのみ)

小間仕切りのパネルなどは一切装備されません。

### Bタイプ(基本装飾・設備付き)

ユニット・システムブースによる基本装備に電気設備と備品が装備されます。

#### Bタイプ設備内容(1小間あたり)

- 後壁(バック)、側壁(間仕切り)、パラペット、カーペット
- 社名文字(青色/角ゴシック体/15文字以内)
- 受付カウンター(1台)
- スポットライト(2灯)
- コンセント(300W/1個)
- パイプイス(1脚)
- 蛍光灯(2灯)
- 上記電気設備に関する幹線工事費用

※Bタイプに含まれる1kWまでの電気使用料を含んでいます。

※社名板、受付カウンター、パイプイスは小間数にかかわらず1台(脚)のみ装備されます。

※角小間の場合は通路に面する側壁は設置されません。



Bタイプ  
参考例

### 新設 Cタイプ(基本装飾・設備付き)

ユニット・システムブースによる基本装備に電気設備と備品が装備されます。

#### Cタイプ設備内容(1小間あたり)

- 後壁(バック)、側壁(間仕切り)、パラペット、カーペット
- 壁面2面のカラー選択
- 商談テーブルセット(テーブルとパイプ椅子3)
- 展示台2台(W990×D495×H750mm×2)※内1台引き戸付き
- A4パンフレットラック1台
- スポットライト(2灯)
- コンセント(300W/1個)
- 社名文字(青色/角ゴシック体/15文字以内)
- ゴミ箱1つ
- 蛍光灯(2灯)
- 上記電気設備に関する幹線工事費用

※Cタイプに含まれる1kWまでの電気使用料を含んでいます。

※小間数にかかわらず社名板は1枚のみ、商談セットは1セットのみ装備されます。

※角小間の場合は通路に面する側壁は設置されません。



Cタイプ  
参考例

## 申込方法

1 下記「出展申込みサイト」より出展規程をご了承の上、お申込みください。

➡ <https://www.intermold.jp/application/>



なお、初めて出展する場合は、会社案内および出展製品のカタログを必ず提出してください。

出展申込みは、インターネットを通しての申込みとなります。

インターネット環境をお持ちでない場合は、事務局までお問い合わせください。

### 〈重要〉重量物展示、および展示内容制限に関して

重量物を展示予定の場合は、申込の際に必ず「予定あり」とチェックして下さい。また、展示会場での「危険物の持ち込み数量制限」により、加工油剤(切削・放電など)などを含む危険物・可燃性固体・液体類の展示、放電加工機または工作機械内蔵油の展示などに制限が設けられる場合がございます。出展を予定される場合は必ずこちらのチェックをお願いいたします。

2 出展申込みサイトで主な出展規程を確認いただけますので、内容を  
を確認・ご承諾のうえ、お申し込みください。

3 出展内容が本展開催趣旨・目的に沿わない場合は、出展受付を保留  
またはお断りすることがありますのでご了承ください。  
詳細は事務局までお問い合わせください。

4 出展申込数は1小間を単位とします。2小間以上の小間を申し込む  
場合、AタイプとBタイプを混在して申し込むことはできません。

5 申込出展者以外に共同出展する企業を表記する場合は、出展申込の際、  
出展者名を「/」でつないで登録してください。個別の登録はできません。  
(出展者名の変更は後日可能)

申込締切日

2024年12月23日(月)

※ただし、満小間になり次第締切となります。

支払期日

請求書発行日の翌月末

- 出展申込手続き完了後、事務局が受理し、請求書を発行いたします。
- 請求書に記載の期日までに、出展料金をお振込みいただきます。
- 出展申込手続き完了後、事務局受理日以降の出展申込の取消は出来ません。

お問  
合わせ

インターモールド振興会

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-1-7 (株)テレビ大阪エクスプロ内  
TEL : 06-6944-9911 E-mail : infoim2025@tvoe.co.jp  
適格事業者登録番号 <T6-1200-0110-4848>